

EcoDesign2013 開催報告

大阪大学 福重真一

日程: 2013年12月4日-6日

会場: Shinville Luxury Resort, 濟州島, 韓国

主催: Korea National Cleaner Production Center (KNCPC)

協賛: Electorincs Goes Green, Care Electronics, Europe

2013年12月4~6日の3日間, 韓国の濟州島において 8th International Symposium on Environmentally Conscious Design and Inverse Manufacturing (EcoDesign2013)が開催された.

本シンポジウムは1999年より日本国内において隔年で開催されてきたが, 今回は初の海外での開催であり, 日韓両国の委員による密な連携の元, 世界20カ国から約300名の参加者を集め盛況のうちに終えることができた. 3件の基調講演と, 117件の一般講演, 47件のポスター発表があり, 以下の17のテーマに基づく約30のセッションが企画され, 5つのセッションルームに分かれて活発な議論が行われた.

- A) Sustainable Consumption
- B) Ecodesign Policy and Regulations
- C) Social Perspectives in EcoDesign
- D) EcoDesign of Products and Life cycles
- E) Business Innovation
- F) Energy Management and New Energy Technologies
- G) Rare Metal Issue & 3R Technologies
- H) Asian collaboration EcoDesign, Resilient Design, Biodiversity, Corporate Environmental Management, Eco-products in Korea
- I) Sustainable Manufacturing
- J) Life Cycle Assessment (LCA)
- K) Economics of EcoDesign
- L) Water Issues
- M) Sustainable Social Infrastructure Systems
- N) Combined Heat & Power System and Exergy Design
- O) Global Issues in Ecodesign
- P) Others
- Q) Uni-materials

これまで日本で開催された EcoDesign 国際シンポジウムでは、議論の中心テーマが製品やサービスを対象とした環境調和設計から、これらの要素技術を持続可能社会の実現にどのように結び付けるかという社会システム全体の「デザイン」に徐々にシフトしてきた感があったが、今回のシンポジウムでは“EcoDesign of Products and Life cycles”セッションにおいて最多の 22 件の発表があるなど、製品開発における具体的な環境対応技術にフォーカスした講演が多かったように思われる。これら技術的な側面と社会システムやビジネス全体を扱うための俯瞰的な視点は、持続可能なものづくりを推進していくための車の両輪であり、今後もバランスの取れた幅広い議論が展開されることが望まれる。

次回のシンポジウムである EcoDesign2015 は 2015 年の冬に日本で開催されることが決定している。また、本シンポジウムと協力関係にある Goes Green – CARE INNOVATION 2014 が 2014 年 11 月にオーストリアにおいて開催される予定である。



メイン会場の様子



セッションルームの様子